

平成26年度「日トルコ科学技術大学設立に向けた調査報告書」

概要

1 調査の背景

2013年の安倍総理のトルコ訪問時に行われた日トルコ首脳会談において、エルドアン首相（当時）から科学技術に関する日トルコ合同の大学設立について提起があった。これを踏まえ、両首脳間で署名された「日本国とトルコ共和国の戦略的パートナーシップの構築に関する共同宣言」において、「原子力分野での専門家育成を含む両国の教育協力の強化を目的とした科学技術に関する合同の国際大学」の設立に向けて協力することで一致した。これに基づき、両国において検討委員会が設立され、大学構想の具体化に向けて準備作業が開始された。2014年1月には、エルドアン首相の来日の際に日トルコ首脳会談を実施し、「日トルコ間の科学技術大学設立に関する協力覚書」に署名・交換が行われ、大学設立へ向けて協力することで合意している。

2 調査の目的

以上の経緯及び現在両政府間で行われている日トルコ科学技術大学に関する議論を踏まえ、本調査では大学のコンセプト立案、大学の概要、ガバナンス及び大学運営、財政的シミュレーション等の項目についてオプションを提示した上で、本件大学のあり方に関する提言を行い、同大学の早期開校に向けた準備を、専門的見地から補完・加速化することを目的とした。

3 調査項目

本調査では、日トルコ科学技術大学の設立に関する以下の4つの調査研究対象について、調査研究項目を示す。

表 1-1 調査研究対象及び調査研究項目

	調査研究対象	調査研究項目
1	大学のコンセプト立案	背景、ニーズ、コンセプト、差別化のポイント 大学のネーミング
2	大学の概要	教授言語、学部及び学科の構成 学生及び教職員、施設・設備
3	ガバナンス及び大学運営	ガバナンス、大学運営

4	財政的シミュレーション	初期費用、年間運営費及び収入予測、収支予測
---	-------------	-----------------------

(出典：調査団作成)

4 実施方法

本調査では、上記の調査目的及び調査対象にしたがって、基本的には関連する各種情報の文献調査と、日本側とトルコ側の関連組織へのヒアリングにより調査を行った。文献調査では、トルコの国家開発計画、高等教育政策、科学技術政策などを中心に情報を収集し、トルコの工学系高等教育機関の情報を収集した。

調査対象及び調査研究項目に対するヒアリング調査対象機関は、表 1-2 のとおりである。

表 1-2 ヒアリング調査対象機関

調査対象	調査項目	ヒアリング調査対象機関
大学のコンセプト案	背景 ニーズ コンセプト 差別化のポイント 大学のネーミング	高等教育審議会、トルコ科学技術産業省、工学系高等教育機関、トルコ天然資源・エネルギー省、トルコ原子力庁、現地企業（進出日系企業を含む）、JETRO
大学の概要	教授言語 学部及び学科の構成 学生及び教職員 施設・設備	高等教育委員会及び大学受験センター（Student Selection and Placement Center）、トルコ科学技術研究会議
ガバナンス及び大学運営	ガバナンス 大学運営	高等教育委員会
財政的シミュレーション	初期費用 年間運営費及び収入予測 収支予測	高等教育委員会

(出典：調査団作成)